

# 東方おにく合同式

おにくの狂宴再び！肉欲よ永遠なれ



DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止





へーイイもの  
持つてるじゃん♡

貴方、私と一発  
ヤッていかないかい？

『餅兔』作：紅壹

あらいっぱい  
射精たねえ♡

…でも、まだ  
やれるでしょ？



むっちりふとももの  
味はどうだい？

我慢できない  
でしょう？

そんなに私の  
身体良かったかい？

いっぱい  
射精したねえ♡

またやろうねえ♡









つい食べ過ぎ  
ちやうんだよね

里の隣の  
ある定食屋の  
お婆ちゃんが  
作る料理が凄く  
美味しくて!



問題はそこでは無い  
どうしてこうなった

もう31日だから  
一夜飾りに  
なっちゃやうね!



妖怪は今更  
やめられない  
けど...  
毎日あんなふう  
に心込めた  
料理食べられたら  
良いなあ

寿命百年くらい  
縮んでそうなの  
不健康っぷり  
なんだけど  
そんな生活してると  
人間になるわよ



てつきり  
人間丸呑みに  
したのかと  
思ったわ  
てゆーか  
そのお婆さんも  
こんなになるまで  
食わすなよ

おかげで精神より  
肉体の割合とどん  
増えてっっちゃって



と、言うわけで!  
私に食べられる恐怖に  
怯えつつも  
愛情こもった美味しい  
手料理を食べさせてくれる  
殿方はぜひ幻想郷へ!

そんな都合の良い  
男が居るかっ

売  
食



昼には終わると言うものの、朝は早いし農具は重い。そんな過酷な農作業の帰り。汗の匂いに釣られて来たのか、天狗の妖怪が道を塞いだ。下には何も着けず、腹は大きく膨らんでいた。

天狗はこちらを見つめながら、ただただ無言で佇んでいた。

墨を思わせる黒い羽を持つ、からす天狗と呼ばれる妖怪であろう。卵を抱えているのかもしれない。女陰はしとどに濡れ、下腹部は己が液体でべとべとになっていた。

妖怪の力に普通の人間が太刀打ちできるはずもない。

なすすべもなく押し倒され  
のしかかられ、気付けば熱く脈動する肉に  
体ごと包まれた。

下半身に熱い体温を感じながら、  
びりびりと伝わる獣欲に抗いきれず、  
大きなお腹の重量を感じながら、  
気付くと肉のいちばん奥に向けて、  
射精していた。





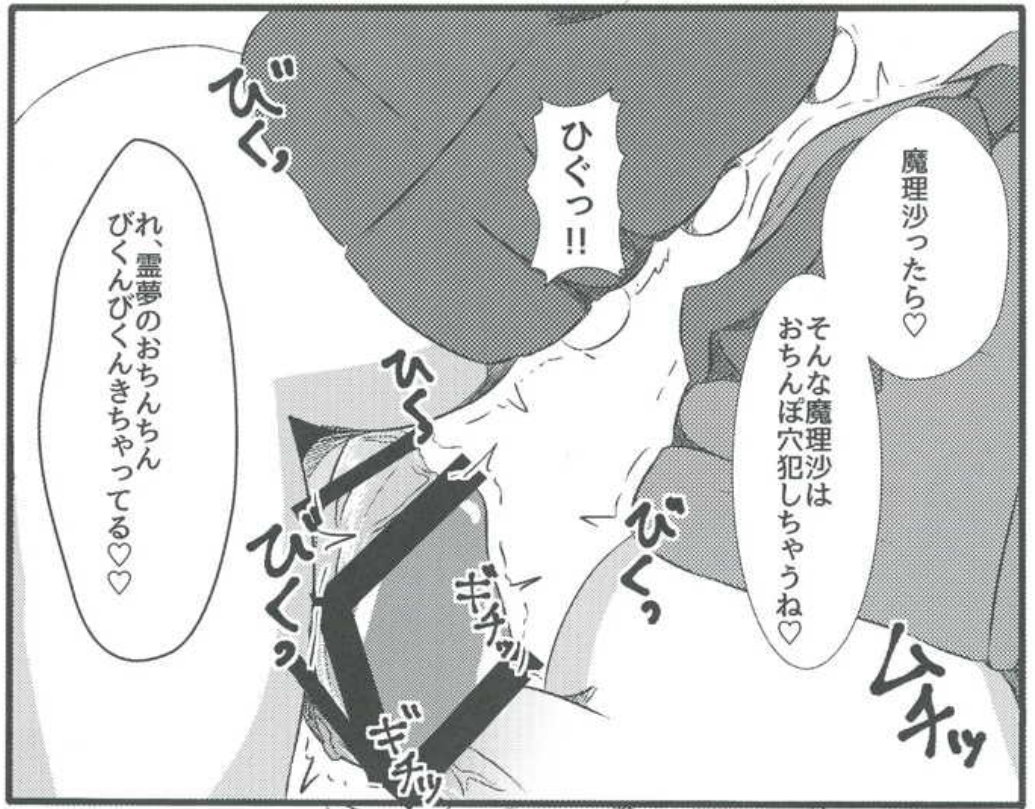




おちんちんで…  
広がっていくよお♡

ズウツ

魔理沙ったら♡



ひくっ!!

魔理沙ったら♡

そんな魔理沙は  
おちんぼ穴犯しちゃうね♡

れ、霊夢のおちんちん  
びくんびくんきちやってる♡



ムチツ

おちんちん  
破裂しちゃいそうなくらい  
大きくなってきた♡♡



ギチツ

いっばい出すから  
まってねっ 魔理沙♡



だってえ…♡

霊夢のムチムチおちんぼ  
とつてもイイんだもん♡

変態さんめっ♡♡♡

私のおちんぼ啜えて  
一番勃起しちゃうよ♡









私と魔理沙のお腹で  
おちんぼするのきもちいらっ♡

出したばかりでっ…!

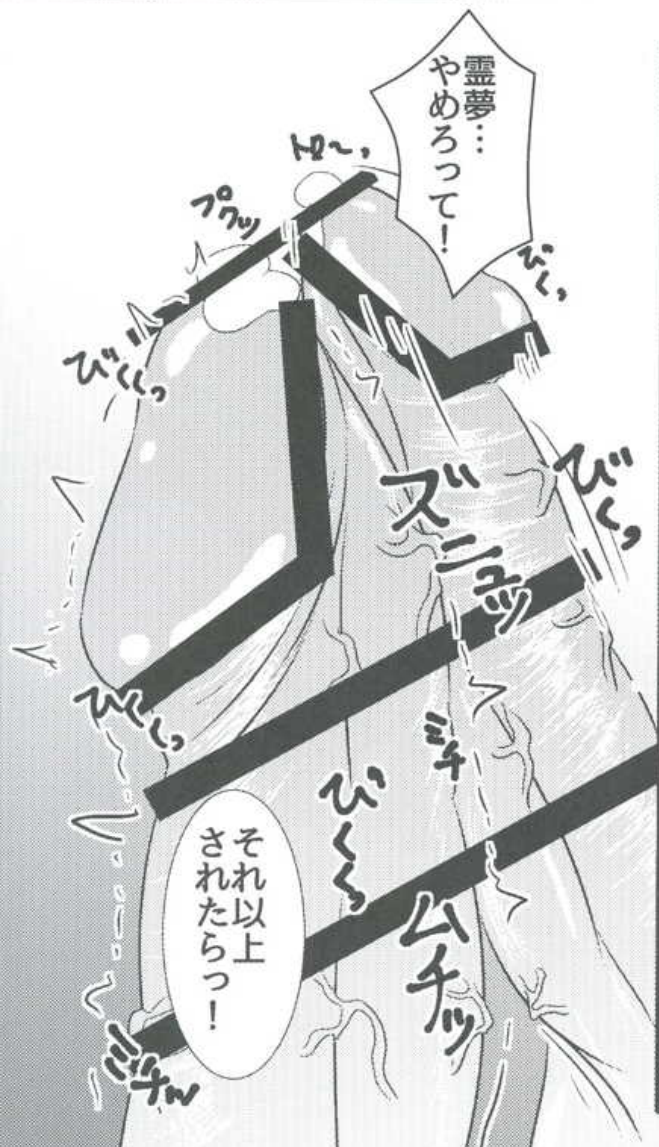
まって霊夢っ!



まりなあっ♡

もっと…!!  
もっとお腹でずりずりするのお!!

ひあっ!?



霊夢…  
やめろって…!

それ以上  
されたらっ!



やだっ…!

やだっおまえっ

魔理沙さつき  
あまり出してなかったから…

次はいっぱい  
ださせるね♡







純粹な顔して  
誘ってきやがって

大神ルリア

この後  
めちやくちや  
セックスした





折角の宴会だし  
今日はガンガン  
飲んじやうぞ

てみちゃんは  
飲んじやうようです。  
作:おつきのと

あーっ!!  
バカてめ待った  
あんたはダメ!!



ビール一杯くらいで  
大して酔いも太りも  
しないんだから心配  
いりませんよーだっ



あんた死ぬほど  
酒弱いんだから  
おとなしく  
コーラとか  
飲んでなさい。

あーっ  
返せばか!



てみちゃんか  
てみはダイエット  
した方がいいから  
もう水飲めば?

ほっとけ!!!



こうなった。

ほくらみんなあ  
わかめ酒でしゅよ  
のんでのんでえ

うわああああ  
てみバカあー!!

ドポポポ

シツ

シツ

シツ

シツ



ししよー！あれ  
なんとかかしないと！  
手伝ってください！

あらあーてゐたら  
あんなだらしないお腹  
見せびらかしちゃって  
恥ずかしいじゃない

私が見たところ  
コンニにいるみなさん  
デブ専みたいですよ  
問題ないでしょう

個人的には  
もって肥えても  
かまいませんよ

お腹はいいんだよ  
脱いでること自体が  
恥ずかしいんだよ！！

おねえさんおねえさん  
ちよつとちよつと♡  
スズス

スッポーンポーン

はえ〜？  
なあ〜にい？

肝心のわかめが  
全然生えてない  
じゃないのさ♡

つるーん

なぬっ

はわわ  
どおしましよ  
わかめないよ

ズズズズ  
ジュルルル  
ロシキロシキ

ニグツニグ…  
なあに心配  
いらさないさ！

ほーら  
わかめだよー

おごごー

わーいわかめ  
モサモサ

なんか  
酔っぱらい同士  
通じ合ってる  
ようですよ後は  
勝手に遊ばせて  
おさましよう

もう知らん。



フフ…まったく  
おねえさんたら  
……

はあっ…

チュッ…

んうう…

クチュ…

ダメじゃないか  
あんなところで  
裸になっちゃあ

又キ…

やああ…

悪い子には  
おしおきを  
しないからね

モフモフ

もみもみ

じゃあいい子で  
あたいとねんね  
しようねっ♡

うええ…?  
ごめんらしいやい  
おしおきやらあ…

あれ?  
ふたりとも  
どこいった?

みみ見てないなあ  
隣の部屋で一緒に  
寝ちゃってるんじゃない  
ですかねえ?



ちるのか  
むちむちになる話

作：おるがにうむ

むーし

むーし

チルノちゃんそれ  
何食べてるの？

うまい

しゅ

むーし  
むーし

わからん

えー

そのへんに  
生えてた

もー  
おなかこわしても  
しらないよー

？

!?

たじろが  
たじろが  
たじろが

ま、たくもー

ビビッ

？

チルノちゃんどうしたのそのむねっ!!

わー！ちるのちゃん  
ぶく！ぶく！

ぬいぐるみ……



どうしよう...  
とりあえず  
ふくはぬがせた  
けど...

チルノちゃんに  
どんどんおにくが  
ついちゃってる...

おにく♡

いぢあ♡

ちるのちゃんっ!!  
大丈夫っ!!??!!??

お

しり

ほろろ♡

みち♡  
みち♡

アッ♡

イッ♡

あ

ちり♡

だる♡

あ









ビクッ

ビクッ

モッ

ホカ

ホカ

モッ

クニ

ズ

ど

びん



## 作・カスピ海ヨグルト

館の庭に閃光走り、頬を打たれて失神KO。紅美鈴は近頃しきりに行われる聖白蓮との稽古で一時間持たずにやられてしまった。

「雇ったときよりは強くなっているような気がしたのですが……この様子だとまだまだですね。今晚も鍛えてやってください」

「ええ、ウチで言えば一輪には勝つて雲山がつけば絶対に勝てないくらいに感じてましたねえ。今晚も、私なりに教えてみましょう」

咲夜は部屋に運ばれた美鈴と介抱する聖の間にこのあとなにが行われるか知っている。が、その行為を黙認していた。

強者と体を重ねることをよって「強くする」めきめきというほどでもないが、多少は成長していく美鈴の背中に最近では若干の頼もしさと期待感を覚えなくてもなかつた。また、夜のやさしさが磨かれた気がしていた。

本来淫行を禁じているはずの聖ではあるが、これもコミュニケーションの一つなのでは、と思つてからは親しい者と体を重ねて互いをより深く知り合おうとするようになっていた。その一環で、美鈴も聖流の愛を教わっていたのだ。

目覚めてありあ、と声を上げ、負けを悟つてため息一つ。美鈴は既に衣という鎧を脱いで肉体を滾らせる聖を認め、第二ラウンドの準備を始めた。

岩から彫り抜かれたような端正な筋肉を纏いつつ、その母性を示すような幻想郷有数の大きな乳房を持つ超人形態の聖に出稽古で倒され

黒衣を着ていてもわかる肉体美についていっいつい勃起してしまつたところを搾り尽くされたところからこの関係は始まつていた。

美鈴とて紅魔館では屈指の豊満な体を持つ妖怪である。ふたなり肉棒は体格に見合った大きさと気での鍛錬で培つたタフネスと固さを誇り、咲夜を一晚で虜にしたカリ高には自信があつた。

しかし、裸の聖はそれらをすべて上回つていった。勝っているのは身長くらいのものであつた。摩天楼のごとく天井を向いた反り上がりは

錫杖のように固く研ぎ澄まされておろし、幾人もの妖女や毒婦を下して

きたそれは茶色く淫水焼けていた。まさにそれは女を突き殺す魔槍であつたが、本人の性格上それは愛を教え時には叱るときくらいにしか使われていなかった。

聖の肉体は美鈴が目指すべきものに思えた。父の強さと母の優しさを兼ね備えたそれは「半」陰陽などと呼ぶのが失礼にすら感じた。

ベッドから起き上がり、汗ばんだ衣服を丁寧に脱ぎ、抱拳の礼をなしてから静かに言う。

「よろしく願ひします」

聖は微笑みと共に近づくと、美鈴の肉棒に湿り気を帯びた摩天楼を擦りつけた。美鈴とて相当の逸物を有しているのにも関わらず、亀頭一つ分は違う。

（なんなのさこの気の塊は！ 熱くて、遅しくて、私だつて一生懸命おちんぼに力入れてるのに、押し込まれちゃう……）

「どうしましたか？ 腰が引けていますよ？」

「あつ、そつちまでしたら、あつ、ゆびつ、そつ、そこはきもちよすぎますよ……」

互いの豊かな乳房で下がどうなっているかは見えないが、自慢の肉棒が己より強い精気を直に当てられ押し込まれて鈍い快感に精を引きずり上げられていくのがわかる。同時に秘所にも指を差し入れられ、

オスの劣勢と共に濡れ始めていたメス肉を優しく搔かれ始めていた。力任せでないしつとりとした愛撫で焦らされ、肉棒は我慢比べにも

ならず絡まれるがままに半透明の汁を漏らして制圧されていく。美鈴も聖の蜜壺に指を差し入れ焦燥のままにかき混ぜようとしたが、戒めるような締め付けにその名器つぷりを想像してしまいギリギリのところ

で競り合つていた肉棒がビクリと脈打つてしまう。

「挿れたところを想像しちゃつたのかしら？ 貴方のご自慢の気功チンポが苦しそうに膨れ上がつて……。試合になりませんねえ」

「ッ！ ダメです、そんなおつきい気をビシビシぶつけられたら、でつ、出る、イツ、くうウ……！」



摩天楼が肉棒を打つと、美鈴は腰をさらに引きながら聖の肩に抱きつき小刻みに震えていた。脳が快感に焼けつき、鍛錬した肉棒も敗れ聖の下乳を白濁で汚していく。

射精の度に全身が引き絞られ、バランスよく鍛えられた筋肉が浮かび上がる。くぐもった呻き声と共に、数秒間に及ぶ長い絶頂を味わう美鈴。

「まあ、おちんぼ相撲だけでこんなに激しく果てるとは思ってませんでしたよ……。では、今日の先攻は私が取らせてもらいますね」

ベッドから脚を垂らして寝転がる美鈴は、射精したばかりの肉棒を期待に漲らせて聖を見上げる。

美鈴を覆う聖の体は練り上げられただけでなく、過酷な試練を耐え抜いてきたような壮絶な美しさを感じさせた。それでいて、むしろ安心させるような逞しさを有していた。

凶悪にすら見える血管が張り巡らされた摩天楼が静かに突きつけられる。気功で十分すぎるほどほぐれた秘所にも厳しいようにさえ見えた。美鈴が肉棒を含めた体をビュクビュク武者震いさせていると、百戦錬磨のそれがゆつたりと侵入してくる。

（すぐにいっぱいになっちゃう……！ 最近咲夜さんを抱いてばかりだったから忘れてたけど、こうして抱かれる心地よさが、あつ、もう奥まで来てつ）

頭から抜けるような呆けた声を出し、総身の力が抜ける美鈴。

挿入されたままゆるゆると肉棒をさすられ、夢心地のままに聖の言葉をしみこませていく。

「よくまとまっていたいい体をしていますね。大切なものを守るために、一生懸命鍛えてきたのが伝わってきます。基礎は固まっていますから、あとは前進あるのみです。……今日は、激しくシてもらいたそうな顔をしていますねえ」

「はい、私なんかよりもずっと強い聖さんに抱かれて、貴方のお体を目標にしたいんです」

頑張ってくださいね、とささやいた聖は手のひらにたつぷりと唾を塗りつける。根元をしっかりと握られ期待にドクドクと幹を震わせてい

ると、カリ首までの引き上げに早くも絶頂寸前の快感を叩きつけられていた。

気の暴発に大ぶりな乳首はしこり立ち、腹筋を軋ませて摩天楼の型取りをするようにみっちり肉粒を食い込ませる。

「あ……アツ、ぐ、あああ……」

摩天楼がじわじわと版図を拡大していく。美鈴は自分の乳房を思わずかき寄せ膣肉を食い縛って侵入を拒否するが、巨大な気の塊に迫られれば嬌声を上げてシーツを掻くしかなかった。

「あんまり激しい絶頂を伴うセックスは良くないのですが……。私の肉体を味わい、さらなる高みを目指したいというのであれば協力しないわけにはいきませんね」

（く……来る！ すっごいピストンが来る！ 気をしっかり持て、最後まで感じきれ、全力で締めて愛に応え……）

美鈴の決意は聖の超人ピストンに押し流されていた。流麗にして逞しい一つの完成形に達したその超越ボディを大きく揺らし、渾身の締め付けを軽々と突き抜き美鈴の大ぶりな尻を豪快に打ち鳴らす。

「くうううううううっ！ イツイイですうっ！ おまんこからすっごい気が流れ込んできて、ううっ、んああああ……いい、イク、ダメツ、まだ聖さんせんせんきもちよくなってないのに、ごっごめんないイクイクイクイツ！ くふ、ああああ……」

強者に愛をもって抱かれる悦びに、美鈴は十分も持たず最初の絶頂を迎えていた。腰を反らして美しい肉のアーチを描き、言葉を失いながら肉棒からも極濃の精液をどばと撃ち出す。しかし聖は達することもなく美鈴が放った以上の気を送り込み、あまりにも格が違う妖怪の体を労わっていた。

「謝る必要はありませんよ？ 今は私の愛を受けて、あとでそれを伝えていければいいんですからね」

「わかりました。……次は私が上になってもいいですか？」「もちろん。貴方のペースで動いてくださいね」



聖をベッドに寝かせ、美鈴は汗だくの体をなんとか動かして背面騎乗位の構えを取った。一度大きく深呼吸をして体中の気を整え、腰を浮かせて摩天楼を己の秘所へ呑み込んでいく。

「うああっ……おつきいですうう……」  
「無理しなくてもいいんですよ？」

元から無理するつもりだった美鈴は、覚悟を決めて一気に腰をどかりと下ろした。

「うわあああ……固いっ固いですう、これイクとこ刺さっちゃった無理無理こんなのスイツチ入っちゃいますよおっ！ ヤバいですヤバいですううううううう……」

聖の張った太腿を握りしめ、摩天楼をなんとか呑み込んだまではよかったもののそこから続かない。腰をガクガク震わせ肉棒をドクドク脈動させてギリギリのラインで絶頂をこらえていた。

（イクそうっ……ちよつとでも動いたらイク、でも、せつかく聖さんが付き合ってくれてるのに私だけイクまくるなんて恥ずかしいし申し訳ないよお……）

「無為な放出をこらえるのはいい心がけですが、辛くなるまで我慢しなくてもいいんですよ？」  
「そういう優しいこと言われるとっ、ツ！」

気が緩んだ美鈴は壁に向けて豪快に精を飛ばしていた。男性器だけがでない燃えるような気の快感を味わい、無我夢中に腰を振り出す。

「もう無理ですっ！ イクの止まなくなっちゃったみたいなので、せめて聖さんも一緒に……」

全身に過剰な気と快感を巡らせた美鈴は凄まじかった。もうもうと湯気を上げ汗をまき散らしながら筋肉を張り詰めフルパワーで尻を叩きつけ、自分で肉棒をしごいて連続射精に身悶える。

一方の聖も美鈴の猛烈なスパートと締め上げに感じるものがあつたのか、歯を食い縛って暴発をこらえていた。  
「そろそろ出しますよ、貴方は大丈夫ですか？」

「お願いします、中に聖さんのをつ……うぐ！？ ああイクウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウ！ ああっ！ あっ、ありがとうございました……」

そつと子宮口に摩天楼を添えられたあとレーザーのような射精が女の奥まで焼き払い、許容範囲をゆうに超えた精気を注ぎ込まれた美鈴は押し出すように己の精をすべて吐き出していった。

飲みきれなかった精液がワテンポ遅れて溢れてくる。自分のそれより熱く、濃厚な精液だった。充実感と虚脱感が入り交じった複雑な感覚に浸りながら、振り向いて申し訳なきげに言う。

「すみません、私はもうそろそろ厳しいので、最後に挿れさせてもらってもいいですか？」

「あらら、こちらこそごめんなさいね。まだ貴方の限界が見極められないみたいで」

美鈴は唸りつつ、聖の助けも借りてゆつくりと立ち上がり振り返って聖に正対した。あれだけ鋭い射精をしておきながら、ヘソへ向かって滾っている摩天楼を見て愕然とする。

打撃をどうにかして当てられても岩壁を打ったような感触を返してくる屈強な肉体に、皆を安心させる大きくて柔らかな乳房が乗っかっていた。

聖の肉体の威容に畏怖の念を覚えながら最後の力で肉棒を固くいきり勃たせた美鈴は、とろりと涎を垂らす蜜壺を力強く突き抜いた。しかし、腰を抜かしていたのは美鈴のほうだった。

聖は優しく美鈴を包み込んで震える竿をそつと吸い上げ柔らかな肉粒でしごいていたのだ。限界に達していた相棒にその歓迎は優しすぎ、美鈴は前に丸まって射精感をこらえる。

うっ、と声が漏れる。さすがに早すぎると意識は恥ずかしがり悔しがるが、いつの間にかあの脈動を始めたそれを止めることはできなかった。暗い多幸感に包まれながら、とび、ぴつと力なく精をこぼす。

「あ、で、出ちゃってますね……」  
普段の美鈴からすれば信じられないような情けない射精をしてしまっ



た。だが、そうとは思えないほどの満足感に包まれて聖のがつしりとした体にそつともたれかかる。

「貴方の頑張り、しかと受け止めました。支配欲のカケラもない澄んだ気です。これから精進を続けて、大切な人を包み込んであげてね。快楽のままに犯したりしたらお仕置きですよ！」


「はい、肝に銘じておきます。今日はありがとうございました。とっても、気持ちよかったです……」

最後だけお茶目な口調で諭してきた聖の胸に抱かれ、美鈴は礼だけ言って力尽き寝息を立て始めたのであった。

——  
プライベートマッチ・完







なにあなた：  
この風見幽香に用：  
弾幕勝負なら他を当たりなさいな  
ええ：  
「催眠弾幕」ですって：  
面白いわ：  
風見幽香に通じるか  
試して御覧なさい！！

風見幽香  
バスト…… 97  
ウェスト… 57  
ヒップ…… 89

作・黒いメガネ



半年後…

ちよろすぎんだろ  
風見幽香wwww  
ちよつと催眠かけたら  
即肉便器になりやがったww  
胸や腹も俺ら好みになるまで  
犯してやってやっつたんだ！  
感謝してイケっ！オラッ！  
ポテ腹のままもう一匹孕めっ！

おーっ  
おー！  
ちんぽー  
ぐんぽー  
キモチいいー

ぶるん

風見幽香  
バスト……129  
ウエスト…[ポテ腹]  
ヒップ……97

おにゅ  
うたぶん

ア  
エ  
ル  
ル  
ル

だぶん

だぶん  
うたぶん

うたぶん

おわり





慧音、もしかして  
冬休みの間に太った？

MY FAVORITE BODY

狂華



な、何を突然！  
そんなわけないでしょ！

いきなりそんなことを…

いや、慧音がそういうなら  
いいんだけどさ…

四足。



パンツの上に乗った  
そのお肉とか…

その全身が前より  
柔らかそうだなあって。





さっきお風呂あがってきたところ見ちゃったんだよね……

全身ふよふよして、もう  
バスタオルじゃ隠せないほど  
ふくよかな体で……



今にも中身が  
あふれそうな胸に、

揺れるたびに  
弾むお腹。





な、なんだ、妹紅か……

そう言っつて慧音は  
さっさと体を隠した  
けど……



そ、そんなこと言っつて！  
妹紅、あなた疲れてるのよ！

ほら、あなたのために  
早く上がっつて  
きたんだから！

あ、ちよつと！



お湯が冷めちゃうでしょ！  
早く入っつてきなさい！

そういう  
つもりじゃ……

早く入っつりなさい！









というより、  
もっとこのままでもいい……



えっ？



ご、ごめん妹紅！  
わざとやったわけじゃ……

……もうすこし、  
このままでもいいかな。





今の慧音、いつもよりも  
断然かわいいし、

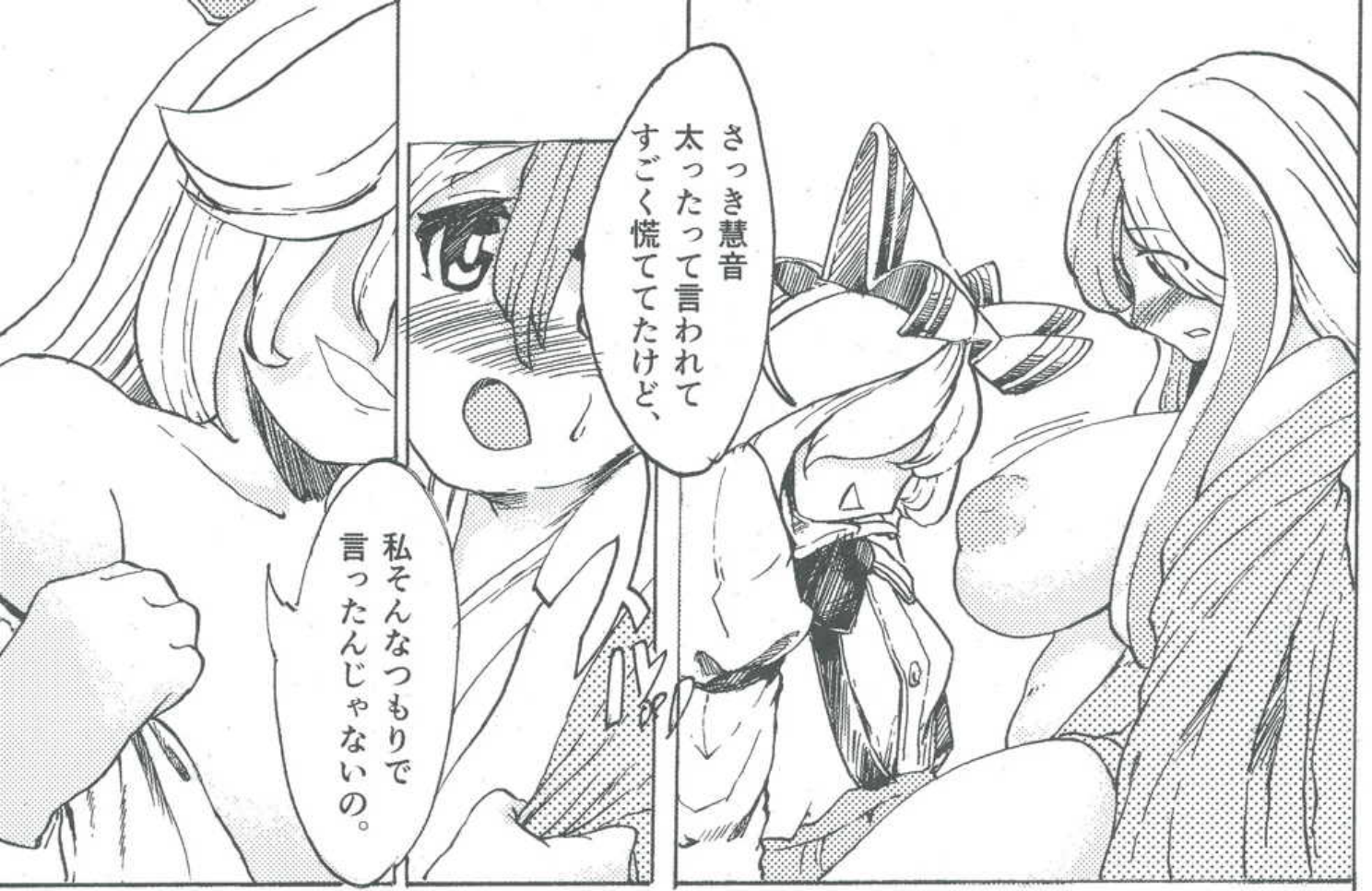
もっとその前体で  
私を包み込んでほしいの…



太ってるからって全然  
恥じなくていい…

痩せてる慧音もきれいだけど、  
今の慧音のほうが私、  
断然好き！





さつき慧音  
太ったって言われて  
すごく慌ててたけど、

私そんなつもりで  
言ったんじゃないの。

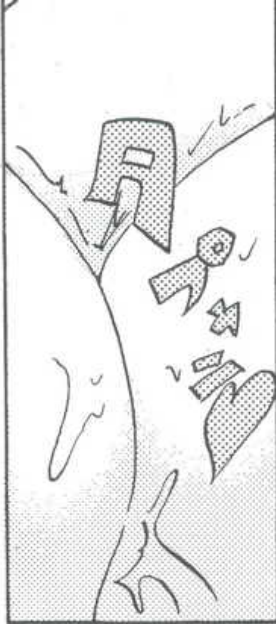


今のほうが、  
ずっときれいだからって  
伝えたかっただけなの…



すっごくかわいいって。





そーいながら  
私を脱がして…  
そんな「堪能」したいの？



そんな慌てなくても  
いいよ♪

夜はまだまだ  
これからなんだから…♪





上白沢慧音？



イライラ

ごめんなさい…

教師よね？

八意先生…  
私は冬を乗り切るために  
仕方なく…

貴方教師よね？



そんなムチムチ慧音さんには  
こちらが用意しました  
ダイエットプログラムを  
用意しましたので  
こちらにどうぞ！





運動と性欲2つを一度に  
解消できる最高のプログラムに  
なってるわね。

あらら…  
すごいことになってますね  
師匠…交尾だこりゃ…

協力者はまだ  
たくさんいるから  
安心してほしいわ



「お肉小傘ちゃん」  
作：ぐろー





魔理沙が毎日ご飯を  
作ってくれるようになってから  
ちよっと太った：気がするわ  
すごく美味しいんだけど  
このままじゃ「デブ巫女霊夢」  
まっしぐらよ……



けい  
かく  
どお  
計画通り



えっ

私って魅力  
ないのかなあ

友達や仲間は  
輝いて見えるのに

# ぽっちやり椀の悩み

作:志々じゅうろく

私は…

よく居眠りして怒られるし  
ミスも多い…それにちよっと  
…ほんの少し僅かに微かに

太ってるし…

……

椀ちゃんは

椀ちゃんは  
魅力的だよっ!!

むっ

ひゃっ





この自己主張の  
激しいおっぱい!

おとなしくて  
気が弱いのに

恥ず

口下手で素直に  
なれないけど

な、なんで分

んっ

すぐに反応する  
正直な乳首!

はあ

はあ

どスケベ  
かわいいよ  
椀ちゃん…

そしてみんな大好き  
むちむち太もも!

か、かわいい…?

むち

もち

あっ

だめ









はあすーい

チンポが喰われてる

やばっ出る

うっ

は、は、

ぐらん♡♡

ばちゅ

ぽん

幻想郷一かわいいよ 栞ちゃん!

大好きなきもち 溢れてくるよお

はあー

はあー

ぽん♡

ぽん



白王様









幻想風俗喫茶店

「養肉嬢」

ここは、  
人里の長屋の一面  
を使った憩いの場、  
「肉の祭典」である

# 養肉場



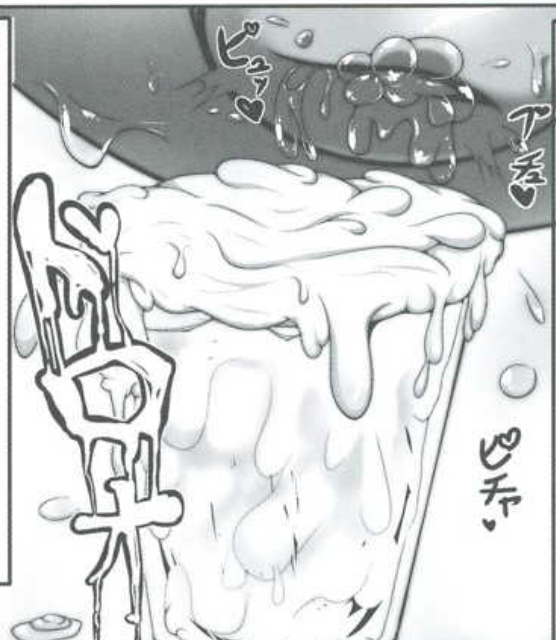
「養肉嬢とは？」  
近年増加傾向にあった  
種付けおじさんが  
性の喜びを知った事で  
暴走するのを予め抑え  
発散させる為に作られた  
肉付きの良い少女が多い  
施設である。

いらっしやいませえ…♡  
ほ、ほんじちゆのドリンクはあ…  
だ、大妖精ですう…♡



風俗喫茶は  
母乳の出る娘が  
サービスドリンク係りを  
ローテーションしているのだ

す、凄いほぼ固形！  
こんな濃厚なの  
見たことが無い…



しかも  
ミルクサーバーが  
美少女！





入口の娘とは  
名残惜しいがお別れ  
本命は席に居ると言う。  
しかし問題は  
その「席」だった…



そう

席が美少女なのだ！

ご指名ありがとうございます♡

ぶぶん♡  
ぶぶん♡

ひびき♡  
トクッ♡  
バクッ♡

なんてこった！これからする嬢が  
「席」そのものだったなんて！

すげえ…  
置けちゃったよ…

たぶん♡  
ズル ズル

お客様？  
あん 今日はどうなさいますか？

ユサッ  
グッ…  
ユサッ

ユサッ

ユサッ

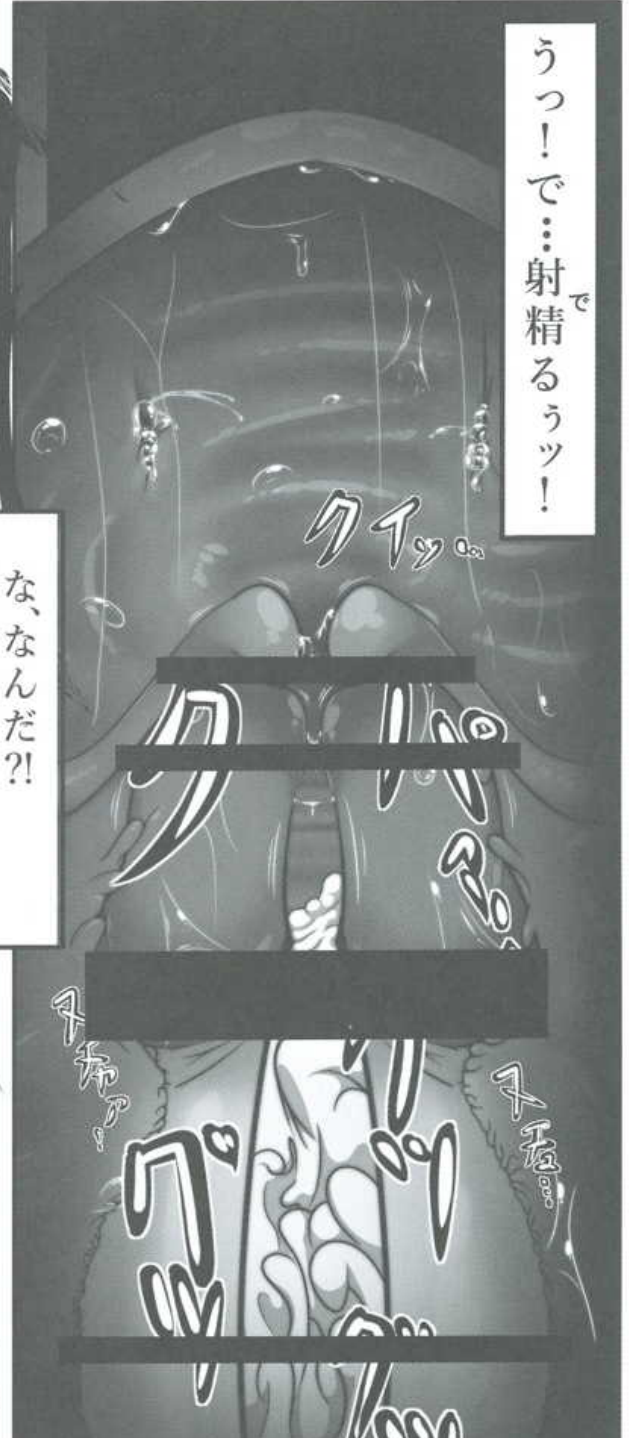


勿論種付けプレスで！



うっ！で…射精るうッ！

な、なんだ？！  
異常に出るう…！



お、俺の射精でボテ腹になっちゃまった！





1時間後。

さっきのお客様  
凄かったね…♡

霊夢さん  
もう今日は  
ダメだね♡

次は私が指名  
貰いたいー！

グチャッ

グチャッ♡

ゴト...

ホチャッ...  
ゴト...

ホト...

ゴト...

ゴト...

ゴト...

ゴト...

ゴト...

ホエ

僕は時間の許す限り  
肉に溺れ彼女の目を除く  
全ての穴に精液を  
流し続け虜になった...  
僕の精液はここに捧げる



♡ PUSSY ♡  
CAT×CAT!!

なかむらすばる



わんわん

わんわん

わんわん

はっはっ

わんわん

わんわん♡

わんわん

わんわん

わんわん

わんわん





とび

ほっ♡

♡

♡

♡

♡

♡

もっかいする...

おしまい♡

♡♡♡♡





天子さん  
最近少し  
お太り気味では…

んー？  
そうかしら？

ぷいっ  
ぷいっ  
ぷいっ



私、いいダイエット  
知っていますよ

楽に運動して  
楽に痩せましょう

描いた人：ちゅんこ



さ、ページもないので  
早く早く！

ムードってもんを  
考えなさいよ！！  
バカー！！



けるな！！

そんなエロ漫画みたいな展開  
ある訳ないでしょ！！

え？コレ  
エロ漫画？  
…ええ…

ふあーっ！！



まずこの  
エロ水着を着ます

エロオ

後は性欲の限り  
セックスするだけ！  
ね？簡単でしょ？

オ









ほーら  
覚悟しなさいよね♥

この天子様のおまんこで  
すぐイかせてやるんだから♥

ノリノリですね…天子さん

うっさいバカ※



あ♡

ビクッ

にゅち  
にゅち  
にゅち

入って…るっ♥



あんっ♡

ぽちん♡

太おい♡

ぽちん♡

おっきいちゃん  
気持ちいいっ♥

ずい♡

ずい♡

ずい♡



おなか…  
恥ずかしいから  
揉まないでえ…♥

こらあ…♥

おに♡

おに♡

















随分遅かったじゃない。

あら、やっと帰ってきたわね。

カチャ



お腹が空いたわ

はやく晩ご飯を用意してちょうだい。

だうあ...



それとこの部屋少し暑いわ、なんとかならないの?

今度新しい本を買ってきてもらえるかしら。

あところにある本全部読み飽きてしまったから、

.....

イラ

イラ

イラ









ちよっ...  
まつ...  
あっ♡  
少し休ませ...  
あ♡♡♡♡  
前のページに戻る。



作：とんとろ





家に帰ると長女ルナサのお出迎え。  
待ちきれなかったのか、ローターを挿入し  
腰をカクつかせて、誘ってくる。  
これはもうおかえりなさいませックス。

ナこむかたでしよっ♡  
一緒にあったまりましょ♡  
ご主人様っ♡♡

たゆんっ♡  
たゆんっ♡

くね

♡

くね

♡

奈津みかん







姉二人に散々搾られたリリカ。  
あたり一面にザーメンを  
撒き散らし、意識がとんでる  
模様。  
リリカはもう限界みたいだが  
そのぶら下がったドたぶんな  
きんたまにはまだまだたっぷりの  
こてこてザーメンが…♡





何が言いたいかっていうと、ムチムチな娘に、  
ラバー素材ってめっちゃ合うと思うんですよ。  
さあパーティの始まりだ。  
描いた人:奈津みかん



どーぞ♡

はやく♡

むふー♡

はやく♡

たぷ♡

は♡

は♡

♡お♡

♡...♡

♡る♡

たぷ♡

お♡

まだたぷ♡  
ハーメンびる♡

たぷ♡

♡る♡

♡

♡♡♡



紅魔館  
午後の  
ティータイム

作：謎中







直球  
すぎる!!

魔法!!

相手を  
太らす



犠牲にならされたっ!!

レミイ!  
フラン!

う、うわーっ!!

ーって、  
なにそれ構え  
すぐくダサイ!!



今まで私は  
ダイエツトしようにも  
持病故に、運動も  
ままならなかった  
わけだけでも...

どうにか  
しないとイケない  
自覚は  
あったのね...



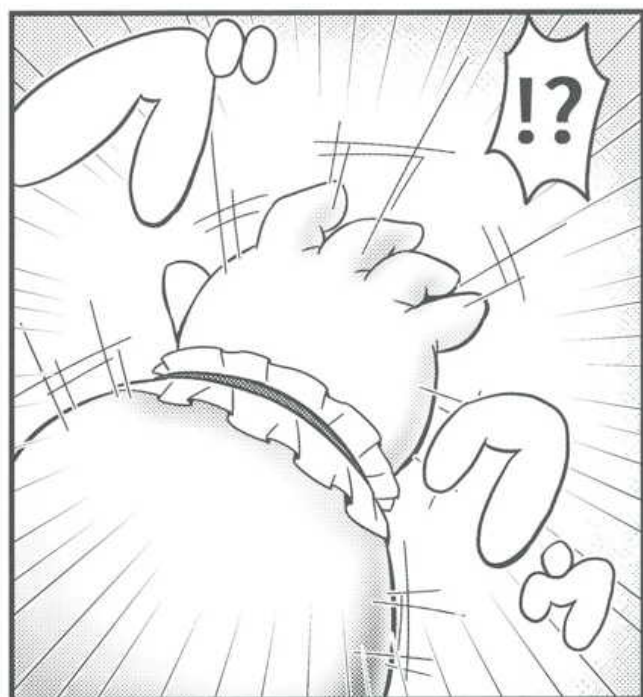
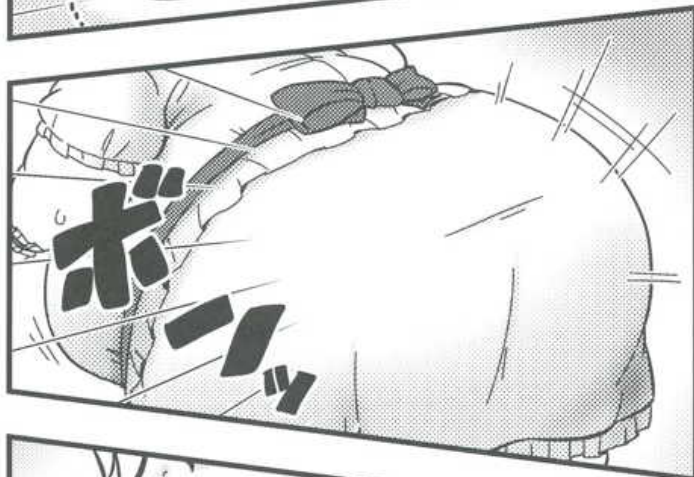
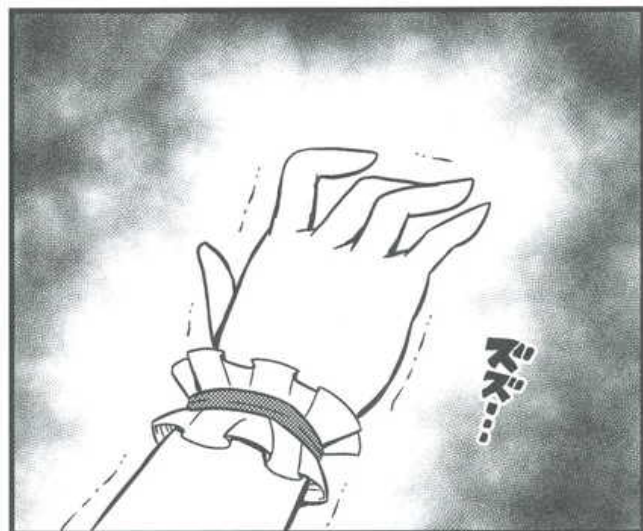
でも、

だったら、  
周りの人が太れば  
相対的に、痩せれるん  
じゃないかなって!!

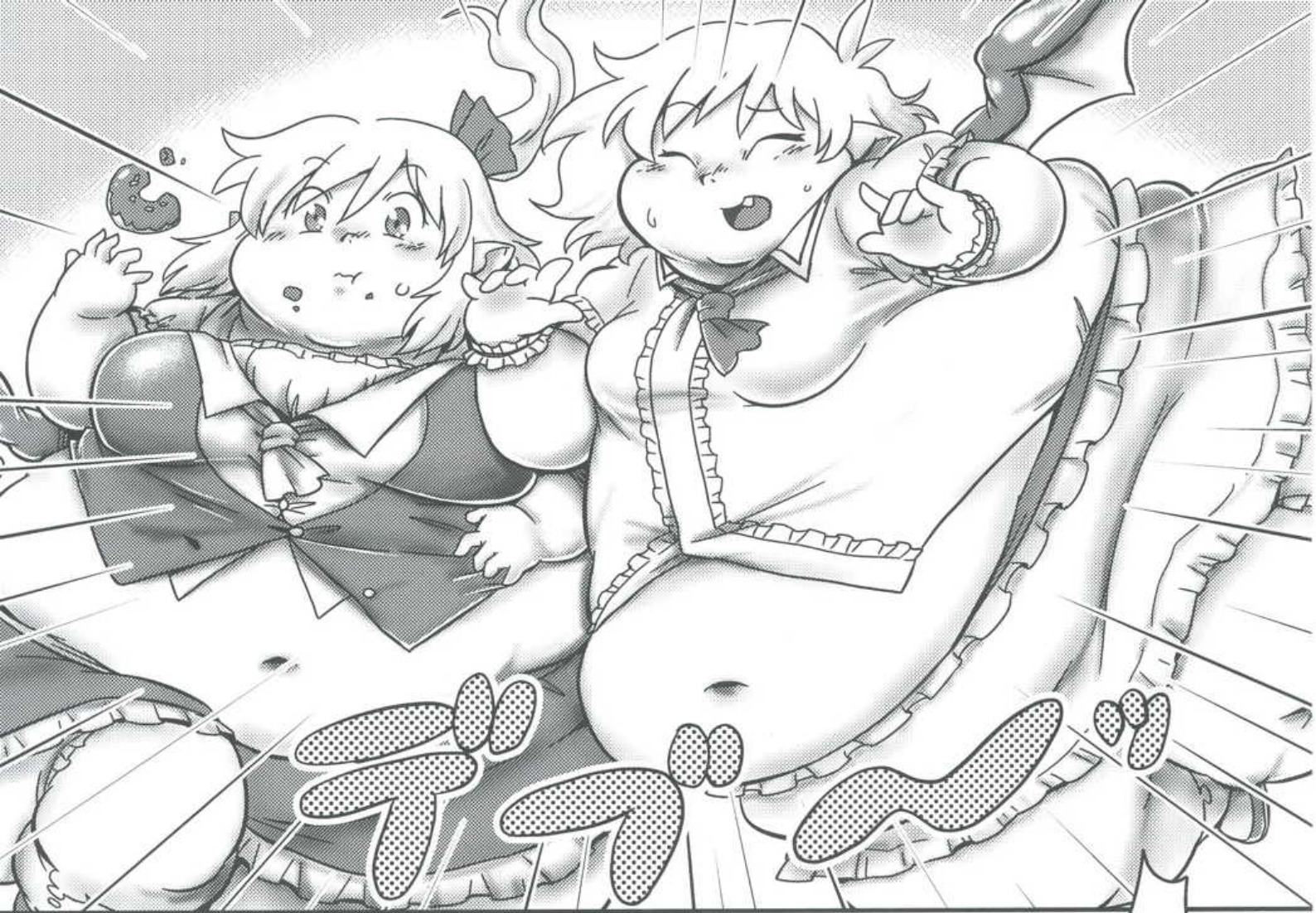
いい迷惑!!

...と  
言うわけで!









そんな魔法あったら  
こんな回りくどい  
ことしないわ。

私が編み出したのは  
太る魔法であつて  
痩せる魔法では  
無いもの。

イヤよ。  
というか  
無理よ。

ちよつとオ!?  
こんなのイヤよ!  
元に戻して!!



マジか...

このあと無茶苦茶  
ダイエツトした。







# うどんげちゃん 膨腹パンデミック なし









※おにく合同1参照

ズッ  
んっ…

ギン

人の寝込みを襲うなんて  
何を考えているの？

ねえちよつとアナタ…

ギン

二度と悪さできないように  
徹底的に搾り取る必要が  
あるよね…

なんて節操のないチンポなの？





まだまだ搾り取るから  
覚悟しなさい♡

一杯出したわね♡

まさかこれで終わりだなんて  
思っていないでしょうね？

んっ♡

んっ♡

びゅるるる

びゅるるる

キュッ♡







# 冬を見据えて

作…棒の人

止められたチルノは不満そうに頬を膨らませるが、リグルは構わずに説明を求める。

「寒い……」

「リグルは寒がりだなあ……」

紅葉が色づき、秋深まりつつある幻想郷。

リグル・ナイトバグは両手で自分の両肘を擦り合わせながら身体を震わせていた。

一緒に居るチルノはどこか呆れたような声を出しつつ、舞い散る木の葉を凍らせて遊んでいる。

「蟲は寒さに弱いだよ……！チルノと一緒にしないでよ……」

「ふーん……」

興味が無いのか軽く流すチルノ。

だが少しして何かを思いついたのか、チルノはリグルに近づくとこう切り出した。

「じゃあ太ればいいんだよ！アタイったら頭いい！！」

「……は？」

チルノの突拍子も無い台詞にぼかんとして固まるリグル。

そんなリグルに構わずチルノはドンドンと話を進める。

「よし！とりあえずミスティアの所でお腹一杯になるまで食べよう！

さ、いくよりリグル！」

「ちよ、ちよっと待って！！なんでそうなるの！？第一まだ昼だからミスティアのお店開いてないでしょ！？」

腕を引っ張って行こうとするチルノにリグルが待ったをかける。

「もうちょっと順序立てて話してよ！！」

「だーかーらー！太ってる人って寒くないんでしょ？だったらリグルも太ってしまえばいいじゃない。」

ミスティアのお店ならお酒もあるし料理もあるでしょ？太るならあそこが一番って誰かが言ってたよ？」

「……単純っていうかなんていうか。そうだとしても私は太るのが嫌だよ……」

リグルの言葉に小首を傾げるチルノ。

「なんで太るのが嫌なの？」

「だってかっこ悪いじゃない」

チルノの質問にそう答えるリグル。

答えを聞いて再びリグルの言葉に頭を捻るチルノ。  
こうなるとむしろリグルの方が疑問を覚える。

「なんでそんなに変な顔してるのよ……」

「アタイ別に変な顔じゃないよ？」

「物の例えよ……何がそんなに疑問なの？」

「だって冬に備えてしぼーを蓄えるのは普通だって聞いたよ？」

「誰に？」

「白黒！」

白黒というのは霧雨魔理沙のことだろう。

妖精だからかちよくちよく人間にちよつかいを出すチルノに対してきつと適当な事を教え込んだのだろう。

「そりゃ動物はそうだけど、蟲は違うの」



実際虫は変温動物である。  
とは言え呼吸などによる発熱が無い訳ではないため、チルノの言う脂肪による体温上昇もあながちあり得ない話ではないのだ。

「でもリグル妖怪でしょ？」

「そうだけど……蟲には違いないのよ」

「そんなの試さないとわからないじゃないの！」

「そうかもしれないけど……」

なかなか強情な様子のチルノに対して戸惑うリグル。  
彼女はしばらく考えた後、決断をした。

「わかったわかった。しばらく頑張ってみる」

どうやらしばらく付き合えば諦めると思っただろう……リグルは諦めるかのように両手を挙げてチルノに同意した。

チルノはえへんと言わんばかりに胸を張り、こう叫ぶ。

「よし！なら早速今日からいっぱい食べよう！！」

「おー……」

やる気に満ちあふれたチルノと対照的なリグルは、右手を空へと突き上げるのだった。

「……それで、そんな体型になったわけ？」

「うん……」

数ヶ月後の夕暮れ。

正に冬真つ盛りとなった幻想郷の魔法の森近くでリグルはミスティア・ローレライの屋台で酒を飲んでいた。

ここ数ヶ月の努力——本人はしたくなかった努力だが——の成果が現れたのか、彼女の身体は見事な肥満体型だった。

ほっそりくびれていた腰は見事な段腹へと変わり果て、座ることで前に押し出された贅肉が今にもシャツのボタンを弾きそうだ。

平らだった胸はぽっこりと前に飛び出し、だらしなく腹の上に乗っかるような形である。

椅子一つでは横幅が足りなくなった尻はその厚みで座高を上げ、背中に至るまでの肉は小さな段を作り上げている。

太くなった太ももはズボンをパツンパツンにさせ、膝部分をも肉がうっすらと覆っている。

腕はミスティアの足とそう変わらない太さを誇り、御猪口を口元に運ぶ度にぶるぶると揺れ動いている。

当然首元も贅肉で覆われ、二重となった顎は頬肉を巻き込んで一つの部位へと変わっている。

「チルノがなかなか飽きなくて……毎日毎日大量の芋やら果物やらが届いて……」

「食べなきゃいいのに……」

「それは勿体ないじゃん……それにずっと監視してくるからそうも行かなかつたの……チルノは加減を知らないから量がとにかく多くて食べるの大変だった……」

食べる振りをすればいいのにと思っただが、ミスティアはあえて言葉にしなかった。

リグルの優しさがそんな事は許さなかつたのだらうと分かっていたからである。

「まあ食べ物無駄にするのは良くないよね」

「でしよう？だから食べ続けるしか無くて……しばらくサツマイモは見たくない……」



酒を煽り、はあ……とため息をつくりグル。  
今年はずが例年よりも豊作だったことがリグルにとっては不運だったようである。

そんなリグルをミスティアはまじまじと見つめる。

「……なに？」

「いや……それで結局どうなったのかわかって？」

「どうって？」

「寒さ対策」

「……見て分かるでしょ？」

リグルの言葉にそうだねと返すミスティア。

彼女の格好は以前よりも分厚い服に替わっており、袖も長くなっている。

上にはジャケットのような物を羽織っており、どうやら寒さ対策は完全とは行かなかったようだ。

「でも去年よりは厚着じゃないね？」

「サイズが合わなかったの！」

「ありやうや……」

どうりでさつきから寒そうだとリグルを見ながら思うミスティア。

ふと、そんな彼女の頭の中に「イイコト」が思い浮かぶ。

「なら少し運動でもする？」

「運動……？」

「うん、「運動」。私も手伝うし」

「……そうだね。こんな体型じゃ威厳もないからね」

酒の酔いもあってか、深く考えずに承諾するリグル。

ミスティアはリグルの返事を聞くが早いのか、ぐるりとリグルの後ろへと回り込んだ。

「み、ミスティア？」

「へっへっへ……それご開帳！」

「わあ！！」

思いっきりリグルの服を引剥くミスティア。

薄緑色の可愛らしいデザインながら巨大なサイズのブラジャーが白  
日の下へと晒される。

「な、なにをするの！！」

「いやーさつきから気になって……揉んでみたかったんだー」

「揉むって……んひう！！」

ブラジャーの隙間に手を入れ、やや乱暴にリグルの胸を後ろから揉みしだくミスティア。

ぐによりぐによりとミスティアの手に合わせて軟らかそうに形を変  
えるリグルの胸。

それに合わせてリグルの顔がドンドンと赤くなっていく。

「おや……リグルのここ堅くなってきてるね？」

「だめ……先っぽ触らないでえ……」

リグルの乳首をこりこりと指先で弄りつつ、にやにやと笑うミス  
ティア。

攻められるのになれてないのか、リグルは身体を反らすだけで上手  
く身動きが取れないようだ。

これを好機とみたか、ミスティアの手は更に蠢いていく。

「私もよく一人でやるんだけど……ここ、いいでしょ？♥」

「ふあっ……♥」

「そこでここをこうして……こう！」

「ひう！♥み、ミスティア……だ、ダメ……♥」

「ん？何がダメなの？」

「わ、分かっているくせに……んんっ♥」



ミスティアに責め立てられ、ドンドンのけ反っていくリグル。  
やがてズボンにシミが出来、愛液が溢れていることが丸分かりになる。

「リグルのスケベ……♡」

リグルのズボンを確認したミスティアは、リグルの耳に息を吹きかけるかのように言葉を囁く。

リグルはくすぐったいのか、それとも恥ずかしいのか……ミスティアの顔から逃げるように頭を振る。

「ほーら暴れないの……暴れるとこうだ！♡」  
「んっ!?!」

右手を胸から離し、リグルの顎の辺りを掴んだミスティアは自分の顔の方へと向けさせる。

そしてそのままリグルの唇を奪った。

口から侵入してくるミスティアの舌に最初こそ抵抗したリグルだが、やがて徐々にその抵抗も止んでいく。

ミスティアは右手を顎から離し、リグルの腹を揉み始める。

たっぷりと贅肉のついた腹はミスティアの細い指をその肉の隙間へと埋め、ズブズブと沈んでいく。

やがて腹を揉むのに満足したのか、ミスティアはリグルのズボンの中へと手を入れて指を秘所へと這わす。

「んー!んー!」

そこだけとは言わんばかりに抵抗するリグルだが、ミスティアが口の中を丹念にねぶるとそれも止む。

やがて辺りに水音が響き始め、リグルの身体がミスティアの指の動きに合わせて震える。

そして……リグルの身体がビクンと大きく跳ねたかと思うと、ぐ

つたりと脱力する。

「……ぷはっ。どうリグル？暖まった？」

「はあ……はあ……♡」

「ふふ……暖まったみたいだね？でもこれじゃ全然運動量足りないから……ね？続きは家でやるっか？」

「……うん♡」

蕩けた瞳でミスティアの言葉に頷くリグル。

ミスティアは屋台を畳み、動けないリグルを乗せるとゆっくりと動き出す。

「ミスティアあ……♡」

「なあに？」

だが動き始めてから少しして、リグルが甘い声を上げる。

「もう一回キスしてえ♡」

「……はいはい♡」

リグルにねだられて唇を交わす二人。

だからそれで収まる訳も無く、再び彼女達のまぐわい始める二人。ズボンをズリ下ろし、愛液まみれのリグルの股間にミスティアは顔を埋めると、深く舌を入れる。

リグルの身体が跳ね、その度に全身の贅肉が揺れて重みで屋台が軋む音がする。

リグルは自分の下着を外し、自ら胸を弄り始める。

ミスティアの舌と自分の手で徐々に高まっていくリグル。  
やがて再び大きく身体が跳ね、身体全身の贅肉を揺らし、リグルはぐつたりとする。

「もう……リグルだけ満足して……あとでこっちもやって貰うからね？」



「はあはあ……ハマリそう……♡」

ミスティアの言葉が聞こえてないのか、リグルは荒い息を繰り返しながら虚ろな表情をする。

ミスティアはそんなリグルの頭を触覚を避けつつ軽く撫でると、乱れた服を軽く整えて動き出す。

月明かりに照らされて歩くミスティアと屋台のリグル。

高く昇った月を背にして、妖怪達の夜はここから始まるのである。

冬を見据えて・完







東方の

# お肉っ娘達!



北武齋

ので

れしを



## 幽香の発散

目々の欲求不満を解消する為に  
三日に一度は必ず遊郭に足を運んでは  
ハードコアな発散方で様々なプレイを楽しみ  
大量に精液を吐き出すのに喜びを  
嗜んでる。

しかも大量に吐き射精された  
幽香の精液は非常にレアなため高価に  
買い取られる。



## 美鈴の肉棒鍛錬

毎日自室にて特殊な  
オナホを使いゴム製の  
帯でオナホを引き  
押しながらしごく  
美鈴。

鍛えられた彼女の肉棒は今宵も  
激しい粘液音をたてしごきまくる……  
無論しごいた後は熱々の汁を大量に吐き出す！



# ハクタク慧音

通常の時と違い、身体は筋肉質に変化しつつ胸も増量し肉竿は二段複力りかつ芋虫の様にデコボコと変形する。  
性欲も半端なく最低でも百人相手にしないとハクタク化した慧音の欲求は満たされない。

尚、巨大化した睾丸には悪い歴史を食べ浄化し栄養価させた特農精液がたんまりと溜まっている。



優曇華と、てる

個人的落描き!

うごへげ

衣装は自分なりにアレンジしてこんな如何にもと  
言う感じなデザインにしています。  
優曇華こと鈴仙は身長がニメートル位の筋肉  
ふたなり。  
てゐはロリ特盛り下半身で鈴仙に握られる側的な  
個人的な脳内設定。



し  
お



# お肉ゆゆ様

個人の中ではゆゆ子様は  
デカクリお肉体系と決まっ  
たりします。  
妖夢とよく貧欲なまぐわいを  
してるので、お約束的に  
普通じゃ満足しません。

その為、掘る側の妖夢  
の体力は足らぬ一方なので  
ある。

尚、たまにその巨クリで妖夢  
の肉穴を突っ込む事も  
シバシバある。

掘られた妖夢の肉穴は

## ガバガバ不可避







一信仰  
百円

馬の  
しん



711-270-2  
5んし+ま





八雲藍は定期的に  
デブる

あっ  
藍様がデブって  
ますよ  
紫様！

やっちまった……

なあにい？  
それは  
それは  
やっちまった  
なあ！

お腹の  
その  
つまみ方  
やめろ！

おい  
橙ちゃん！  
アレだせ  
アレ！

はい

デカマテラ！

デブ式は  
黙って

ダイエットだ  
オラア！

デカマテラ！

デブ式は  
黙って









君達  
私も  
混ぜなさい!



何か私も  
ムラムラ  
して  
きたな...

しゅる



粗チン  
じゃなあ...

うわああああん!  
私にも挿れ  
させてよお!

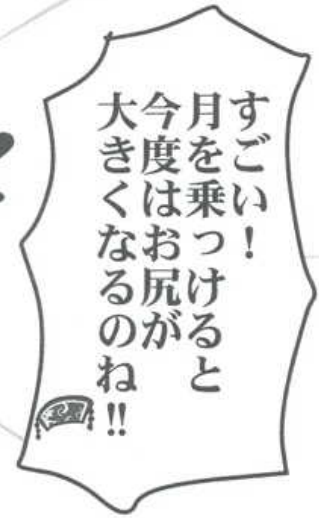




















んあぁっレ  
はあっんッレ

イッちゃっ  
うっうっうっ

ブルッレ

びくっびくっ



面白かったわよ  
へカーテイ…あれ？

エラー。  
容量ガ  
不足シテイマス。

何これ？  
壊れた？

ほんと  
どうなってるんですか  
神様の身体…

星を1個にしたら  
なんとか治った。



未曾有の事態に立ち向かうべく  
二つの頭脳が立ち上がった！



八雲式瘦身健康性感按摩(但し本番行為禁止)の開始である！

前回までのあらすじ



橙ッ!?

橙が太った

上手に  
できるかな...

えっうそツ  
これ大きすぎ！

私のおにくで  
ヌキヌキして  
くださいねー♡

こんにちわー  
橙です♡

しっ、尻肉  
気持ちいいですか？

そ、そう  
それなら良かった  
です





脇コキ…ですか？  
何だかくすぐつたい  
ですね

えっもつと  
締めていいん…  
あ、出た♡

うふふ  
何回も出したのに  
まだ元気なんですね♡

今日は橙も  
疲れちゃいましたからあ  
また来てくださいいね♡



ひびひび

↑才後



蛮奇ちゃん♡

にはーっ

私のお肉に

食べられちゃって  
くださーい♡

わはっ

わかつ

むぐっ!!

ずふい

ぽて〜ん♡

む

わ、

# ふとすぎ姫

雪瀬みこの

美味しいですよ  
蛮奇ちゃん♡♡

ググ

クハッ

ふふっ  
中で動いて  
本当に食べちゃったみたい♡



次はおへそで♡

はっ

はあ

いただきまあ〜す♪

はっ

ぎゅわう

ぎゅわう  
ゆむ

ごっくん

ごっくん

んうう  
気持ちよくて  
溢れちゃうっ♡♡

はあ

はあ

あっ…

はっ

げゅ

ポトポトッ

はあ

頭、抜けなく  
なっちゃった…

はあ

ごっくん

げゅ





# 楽しんで ダイ♡エツト?

by 龍愛



あら……!  
また  
太りました?

殴るわよ……  
こあ……



そんな  
パチュリー様に  
こんな本  
見つけちゃ  
いましたよ



そお……



これ…  
痩せるのに  
いらいます？

はい…  
必要みたい  
ですよ

うわ…



ええと…  
これを  
女性器に…  
入れ…て…

ガ

は…パ  
はあ

はあ  
パチユリー  
…さま…  
あ…

いっ！  
ちっ♡

入れても  
いいですよ

…っ！  
何考えてるのよ  
やめなさい！

シ













快樂の  
波と一緒に  
大きく...

あが  
胸が...

キ

チ

ミ

千

ん



精子が溢れて  
もう限界...  
オマンコに  
入れても...

いいよね

やだ...  
おちんちんも  
こんなにな...  
大きく...  
うずうずしちゃうっ

お願い  
やめて...  
そんなの入れたら  
裂けちゃうよ  
だから...



パチュリー様なら  
絶対イけます！

く…苦しいっ！  
やめてえ…！  
痛いっ いたいっ！  
おまんこ壊れるう！！  
あっ…ああああ！！

鈍い痛みが  
ズンズン響くううう！  
おちんちんが  
突く度に頭が  
真っ白くなるくらい…

こんなに  
気持ちいいの！！







パチユリー様！  
ヤバイの  
きますッ！

おねがい！  
ぬかないで！

いいの？  
絶対破裂する  
勢いで出しちゃ  
いますか！  
いいですか！

だしへえ  
こあちゃんの  
愛の子種え  
ぜえんぶ...

うげとめて  
あげソウラ

漸  
ガクガク  
ウウウウ

ホ

ばあ

ガキ

ガキ

はあ

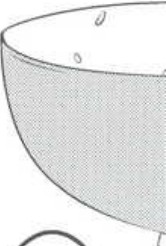
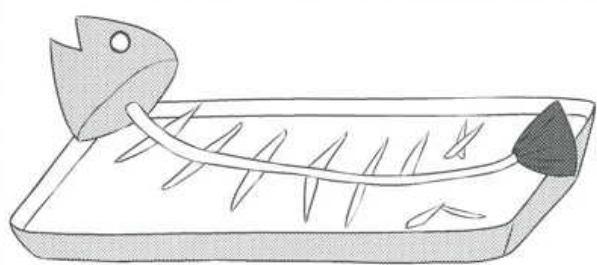
ヤバあ



あぁ、<sup>※</sup>紅大のご飯おいしすぎて  
お腹大きくなっちゃったじゃん

さす  
さす

※紅大（こうだい）…柊の男の子版



お粗末様。  
食器流しにおいてねー

柊

いやあ食べた食べた。  
ご馳走さま

影



作：六角・ペドージャ・橙亜

秋だからって  
食べすぎだよ

むにっ

ちよ、<sup>※</sup>狼斗くん!?

たふんっ

そういうお前も、  
いい肉付きに  
なってんじゃないか。

※狼斗（ろうと）…男の子版影狼





もう・・・  
しょうがないなあ

今日も・・・  
しちやうかい・・・？

そして...

ってか・・・  
スカートは・・・？

お腹周りきつつけけど  
普通に着れるじゃん。

たふふん





ちよ、狼斗くんっ

ふへへ、  
もうこんなに  
大きくなってんじゃん。



あっ……  
そだめ……



あ……  
で、でちゃ……



こういうのが  
好きなんだろ……



うへえ……  
まーたこんなに  
出しちゃって。

















いっぱい  
開発してます♥

今、響子ちゃんのお願いで...

びん

おびん

ギョ

びん

ギョ



にちま...♥

今日はそんな私達の開発風景を

お届けしますっ♥

ぬる

ぬる

ぬる...

びん



楽しんでくださいね♥

はっ

はっ

はっ

はやっ

はっ

ぬる

ぬる

ぬる













(R:)ドライブの容量が不足しています。





あつ  
がき



まん丸お肉な  
もちもち少女、  
良いですよね…  
お腹なでなでしてあげたい！



描いた人：あした  
twitter：@asheta7  
pixiv：id=4852296

鈴瑚ちゃんがいつも  
お団子を食べているのは  
能力で強くなるためじゃなくて、  
全身に蓄えた駄肉を使って  
お肉ズリプレイをするためなんだ。  
僕は賢いから知っているんだぞ。

紅杏

Pixiv：55026

Twitter：akahito0829

ムチムチ霊夢ちゃんと  
魔理沙ちゃんに



はさまれたい  
人生だったっ!!

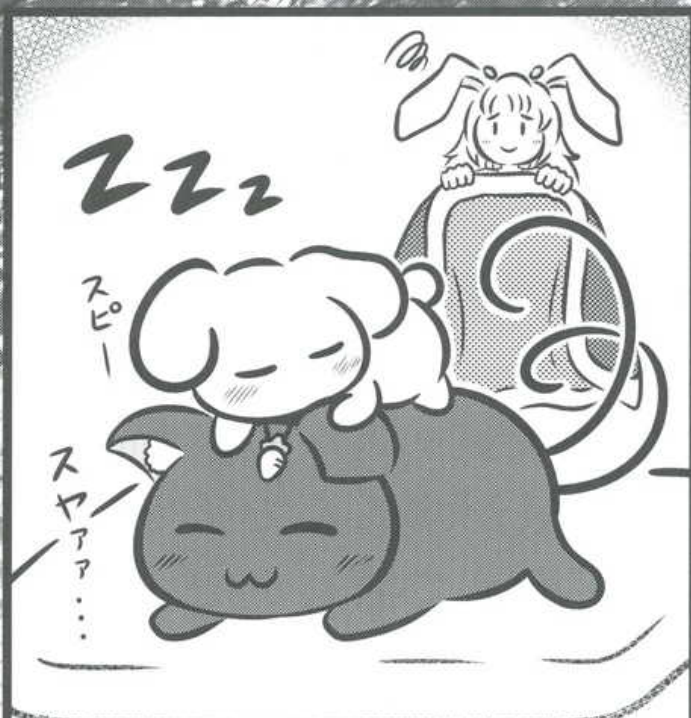
いち

pixiv:893441

妊婦という存在は奇跡である。  
腹部のみが膨らんでいる、  
その一見歪な姿は受精に至る性交を  
想起させ、強いエロスを感じさせる。  
こと日本においては墮胎可能な  
期間は法律で定められており、  
妊婦であるとはっきり視認できる  
段階ではもはや産む覚悟を  
決めているということでもある。  
性交を前提とした存在でありながら  
決意を抱くその姿には、ある種の  
処女性すら感じずにはいられない。  
神聖で不可侵、脆弱でありながら  
子を守る存在としての母性と強さを  
感じさせる、妊婦という存在は  
まさしく奇跡的な存在であると  
言えるだろう。

アミーゴ内藤





おにくむにむに!というおけて”  
 ちっちゃくてむちむちなおねーさんと  
 にゃんにゃんしたかっただけで”  
 ほんとはたいしてよってなかった  
 おりんちゃんなのでした。  
 チャン♪チャン♪ おつきのと



あとかき  
 大神りあです。  
 おにく合同参加  
 ありがとうーごいませ。  
 4年かなあなが  
 小とも、いいてはあ  
 ボウはボウ腹お肉が  
 大好きです。  
 おにくかてあいましろう!  
 大勢

爆乳には気を付けよう!

KakkiTimeYear



おにくちゃん!!

おるかにうむ

Twitter : @oruka0827

PixivID : 5286419

おにく合同!今回も参加させていただきました!  
 前回のおにく合同からもう1年...  
 早いですよね...^^;  
 以前と同様に今回も漫画を描きましたが  
 依然と上手くなりませんねえ...^^;  
 漫画を描かれている作家さんはやはりすごい...!

前回とは違った方向性のおにくでしたが  
 どうだったでしょうか?  
 一人でも多くのかたにおにくを楽しんで  
 いただけていたら幸いです^^



最強雌筋肉チンポバトル的な話や超むちむちお姉さんに搾られるおねショタばかり書いています。SSは基本東方です  
今回の二人や神奈子様などはマッスルの素養がある気がするんでそういう話が増えて欲しいですね。

読んでくださった方々も含めた関係者の方々には感謝しかありません  
おにくに幸あれ

流浪のガバガバ作文野郎 **カスピ海ヨヨケルト**

此度もお誘い下さった  
Anchors様に感謝!!  
圧倒的感謝!!  
というわけで「黒いメガネ」です。  
やはりお肉は増しましでイキたいですね。  
今回は手加減しましたがが幽香りんには  
もつと肉々しくなって欲しいところ。

pixiv  
=4063401

twitter  
=@kuroimegane5648

狂華です。今回も参加させていただき  
ありがとうございます(\*・v・\*)  
またもや書いているときに体調を崩してしまい、Anchorsさんにご迷惑をおかけしてしまいました…  
申し訳ございません。

さて今回は慧音のふくよか()な体が好きであることを妹紅が告白する…  
というテーマでございまして。え？前座？  
本番はないの？

その前座がよろしいのよ!!!  
というわけで今回はここで失礼させていただきます。ありがとうございました。





## しげきっくす @shigekix501

おにく合同、いい響きですね～  
素敵な合同誌にお呼びいただき  
嬉しい限りです!

霊夢ばかり描いていた頃があり  
なつかしくなりました  
ムチぽちゃばかり描いているので  
よかったら仲良くしてください!  
(\*´ω´\*)

I ♥  
お肉



しげきっくす

この度は参加させていただき  
ありがとうございました。  
お肉小傘ちゃんが描けてとても  
楽しかったです。

# お肉最高!



ぐろー

pixiv ID 4607996  
Twitter @Oekaki\_glow

## あとがき

このたびは『東方おにく合同2』をお手に取って  
いただき誠にありがとうございます。

さて、自分にとって今回のおにく合同2が頒布  
される冬コミが私にとって初めてイラストで参  
加した同人イベントということになるわけですが  
この本を手にした皆さんに自分のイラストが  
少しでも『買ってよかった』と思えてもらえるよう  
なものになっていれればと思います。

最後に、このような機会を与えてくださった主催  
のAnchorsさん、またこの本を手にとってくださ  
った皆様にあとがきの場をお借りして目いっぱい  
の感謝の意を表したいと思います。

本当にありがとう!!



みにし

白玉桜

## あとがき

初の合同誌参加でしたが楽しんで  
描かせていただきました。  
これからもむちむちとしたおにく  
をたくさん描いていきたいです。  
ありがとうございました!

腹肉大好き

志々じゅうろく







始めはひたすら肉嬢とムチムチセックスをする予定でしたが、霊夢を相手にしたら「こいつ巫女だから処女膜失くしたらダメなんだっけ?」と思ったので全身の処女を奪ってみました。しかしあれですね、部屋の壁がマンコで埋まったら良いのに...

空スペースアへ顔



twitter:tyntyn9  
Pixiv:120510







初めまして、とんとろです。  
 素敵な合同に参加できたことを光栄に思います。  
 お尻の駄肉感が大好きです。  
 お尻の肉が腿の付け根に乗っかってる部分が  
 とくに一押しです…。(わかるかな?)

正直東方は名前ぐらいしか知らず  
 ほとんど描いたことなかったので、  
 そんな自分が参加していいのかな？  
 と少し不安でしたが、  
 皆様いかがでしたでしょうか。

いざ描いてみるとそれはもう楽しく  
 て、自分のフェチが色濃く出た  
 作品になってしまいました(汗)。

賛否両論あると思いますが少しでも  
 楽しんでくれたら幸いです。

最後に本をお手にとってくださいました方、  
 企画にお誘いしてくださったAnchors様、  
 本当にありがとうございます！

おにく最高！おにく万歳！

てにく

おにく合同、早くも二作目！ …ということ  
 で前回は引き続き参加させていただきました！

前回の完成した本を見て思ったのですが、  
 なんか僕だけお話の毛色違いすぎませんか(笑)



レミアは多分必死こいて  
 減量しようとすると思いますが、  
 フランは割と受け入れそうな気がします。

…というか、本編で  
 一言もしゃべらないまま常にドーナツを  
 食べているという…

幻想郷のエンゲル係数が  
 右肩上がりになりますように！！



謎中

間に合え…間に合え…(念力  
 どうもです奈津みかんです。  
 今回も参加させてもらえて非常に  
 うれしい…。  
 まさかこの合同の2がでるとは…！  
 それほどこのおにくという需要が  
 あるわけですね！！いいぞ！！

しかしやっぱりムチムチしてる  
 娘にさ！！  
 こうびっちりとして  
 テカテカな  
 ラバーってめっちゃいいですぞ！

と、布教しておきます。

書いてて楽しかった…。  
 この素晴らしい合同に感謝！！

奈津みかん  
 ツイッター:natsumikan\_b\_f



締め切りが、ちぎってかき



片方だけ出してるの  
割と好き  
描いた人: 鳴神藤四郎

今回、合同誌というものに初めてご参加させて頂く運びとなりました。

普段は主に天子ちゃんで膨腹破裂漫画を描いています。  
(膨腹破裂は至高)

今回R-18Gは無し、ということで破裂描写(内臓など)は控えさせて頂いた形になります。

なにぶん合同誌は初、しかもスタイルは現代においては実例の少ない鉛筆原稿。

ご迷惑をお掛けするのが必定の中、快く参加を受け入れてくださったAnchorsさんと、ここまで読んでくださった読者の皆様に感謝の意を表し、締めの言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。

ななし

あとがき

今回も緑髪キャラですが・・・  
実の所東方で一番好きなキャラはレティだったり・・・

次回が有ればまた参加させて頂きたいと思います。

棒の人

TwitterID : @stickhuman

PixivID : <http://www.pixiv.net/member.php?id=220851>



にくとケモも満ちすぎた感じが好き

初.同人活動!

最高のたくをあじわえる作品に参加させて頂いたいただき、まことにありがとうございます!!  
これからはがんばる!!

Pixiv = 18767194

番傘 番外地







# 初参加です。

お読み下さった Anchors さん。  
ご一緒させて頂いた方々の皆様。  
読んで下さった皆様

本当に

ありがとうございました!!  
曾根みこの



当初は  
こういう  
誌を  
描く  
つもり  
でした。



ゆからんのすけ

皆様はじめまして。

同人サークル「コーヒーのない六角喫茶」  
代表取締役の、六角・ペドーシャ・橙亜です。

この度は、とても素敵な合同誌に参加させて  
いただき、誠にありがとうございます!

テーマがお肉ということで、ぽっちゃり影狼さんと  
桜くんを描かせていただきました。

当サークルの方向性がショタ、女装男子系  
ということもあり、今回の原稿もその方向で  
描かせてもらうことができて、喜ばしい限り  
でした。

また次のおにく合同があったら、積極的に  
参加したいと思っております。

次こそ本命の橙ちゃん×響子ちゃんて寄稿  
できたらと思います。

次はちゃんと本番シーン描ける様に  
がんばります!



twitter:TOA\_NoCoffee  
pixiv:id:1318417

東方おにく合同本に参加しました 龍愛 (りゅうあ) と申します。

欲望の赴くままに発散させました。

膨乳・膨胸というフェチズムをさらけ出すというのは恥ずかしくもあり  
それでも膨らむ過程が描きたいんやあ!との欲望で欲が勝ちました。

膨乳・膨胸描いてる途中、とても興奮してしまい困りましたね・・・。

膨らむお肉をどう表現するか楽しく悩みながら自分の中の最大限の  
クオリティーを出して読み応えのある表現できていれば嬉しいです。

「膨乳・膨胸もっと流れ〜」

いろんなキャラをどんどん膨らませて、一部屋いっぱい集めて膨らませていく  
のも描いていきたいですね。

また、東方おにく合同が開催されたらこれ以上ない膨らみを描いてみたいです!

それまでクオリティーを上げていく練習をいなくちやなあ!

さて、誰を膨らませるか





## ■イエーイメツチャホリデー■

どうも、気まぐれニッチフェチ散弾銃という称号を頂いたAnchorsです。  
この度は、「東方おにく合同弐」をお手にとって頂き、ありがとうございます！

今年一年は色々考える事も多く、忍耐と求道の年だったように感じます。  
しばらく燻ってきた分、来年からはドンドン弾けていきたいと思っています。

今回の「東方おにく合同」ですが、やりたかった「色々なおにく」が  
表現できたようにも感じます。

また一年後ぐらいに「東方おにく合同」を頒布する予定ですので、  
更に濃くエロい合同になれるよう、よりいっそう努力していきます。

ところで、最近SecondLifeでお店を持ちました。  
みんなでワイワイ遊んでいるので、ご興味のある方は私宛に  
ガンガンご連絡ください♥

最後に、この合同へ参加してくれた皆様や  
この本を手にとって下さった皆様。  
そしていつも励ましてくれる皆様に感謝を…

それでは、よいお年を！

# Anchors

来年は  
キワドイものも  
いっぱい描き隊







## 「東方おにく合同 式」

発行日: コミックマーケット91 (2016/12/31)

発行者: Anchors

サークル: ハーミット9

印刷: 株式会社 日光企画

### ■ 著者連絡先:

dipm.mono.eye@gmail.com

PIXIV:

<http://www.pixiv.net/member.php?id=8249062>

Twitter:

@mono\_eye\_OS

当作品は東方Projectシリーズ(©上海アリス幻楽団/ZUN)の二次創作です。  
当作品を無許可でインターネット上にアップロード及び内容を  
閲覧・ダウンロード可能な状況にする事を禁じます。







# 参加者一覧

紅壺  
あした  
アミーゴ内藤  
いち  
大神るりあ  
おつきのと  
おるかにうむ  
KahkiTimeYear  
カスピ海ヨヲグルト  
黒いメガネ  
狂華  
ぐるー  
コロ太助  
しげきつくす  
志々じゅうろく  
白玉桜  
すばる  
ダイギンガー

ちゅんこ  
塚沢  
でいたらく  
とんとろ  
奈津みかん  
謎中  
ななし  
鳴神藤四郎  
番傘番外地  
棒の人  
北武斎  
ほんのしろみ  
松の芽  
まのれあ  
ゆからんのすけ  
雪瀬みこの  
龍愛  
六角・ペド=シャ・橙亜  
(五十音順・敬称略)  
主催 / Anchors